

[成果事例]

熊本電気鉄道は、熊本県熊本市に本社を置き、鉄道・路線バス・貸切バス事業を主な柱とする。熊本市と合志市を結ぶ鉄道と、熊本市・菊池市・山鹿市などの地域で路線バスを運転し、通勤、通学の足を支える。

同社は、経営の多角化を図っており、上記事業に加え、観光事業、不動産事業、保険代理業を行う。

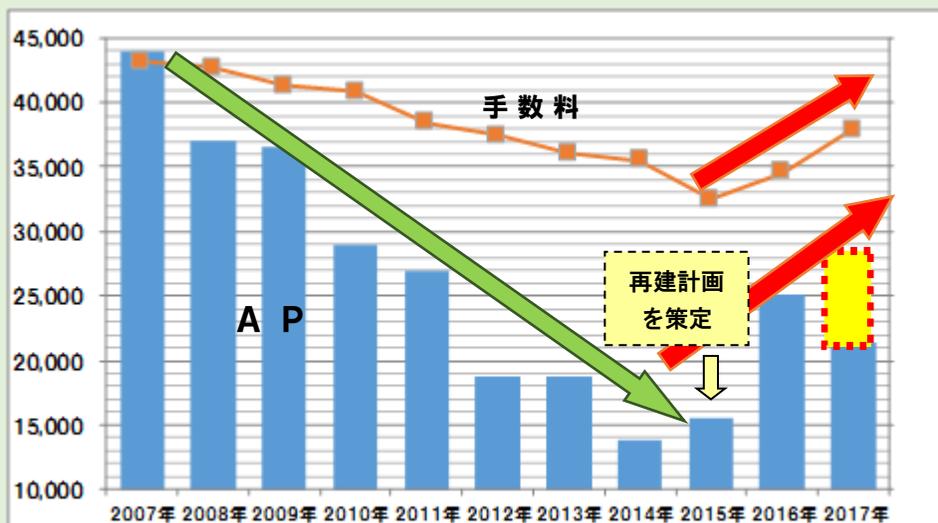
保険会社の代理店業務を行う保険部門では、収入保険料、手数料ともに年々成果が下がっており、過去4年間の月別実績を見ても目標を達成した月は一回のみと会社としても強い危機感を持っていた時に、その再建を特命された徳丸氏が2015年7月に着任した。

徳丸氏は、着任時にあわせ本研修を受講し、「ゼミナール」において「保険部門の再建」を自社テーマとして、研修期間中に約100件の顧客の生の声を把握し、再建計画書を作成、自社で実行した。具体的には、①同課の方針・ビジョンを策定、②3年間で実績回復という目標を設定、③部下の意識改革、④顧客対応にあたっての方向性を変更、⑤営業環境の整備（“働きやすい”環境づくり）を行った。

これらの取り組みにより、徐々に右肩上がりに売上を伸ばし、月別目標もほとんどの月で達成でき、再建に向け順調な兆しが見えていると言うこと。

今後は、これまで行ってきたことの充実化を図るとともに、営業社員の教育、営業方法のバリエーション増などを計画し、更なる売上増加を目指す。

「研修で学んだ『SWOT分析、クロスSWOT』や『STP分析』などは、自社の現状把握・今後の方策策定に活用できた。」と本人は語る。



本社社屋



惜しまれつつも引退した
当社の代名詞5000形

[経営管理者養成コース (4日間/月×6ヶ月)：研修の概要]

本研修では、経営幹部、後継者を対象に、経営管理者として必要なマネジメントノウハウやスキルを毎月4日間×6ヶ月間のインターバル・計24日間かけて学んでいただきます。

- ①経営計画・人事・財務・営業などの「マネジメントノウハウ」
 - ②管理者としての役割、リーダーシップなどの「ヒューマンスキル」
 - ③自社課題解決に繋げる「ゼミナール」
- の三本柱により総合マネジメント能力を身につけてもらいます。

[研修の特徴・ポイント]

自社における新たな取り組みを、少人数制による「ゼミナール」科目を活用し、講師のアドバイスを受け実行プランを策定し、自社で実践することで、成果に結びつきます。



徳丸 和行氏
営業企画部・執行役員部長

会社名：熊本電気鉄道株式会社
業務内容：鉄道・路線バス・貸切バス、観光事業、不動産事業、保険代理業

所在地：熊本県熊本市中央区黒髪3丁目7番29
従業員数：221名 資本金：10,000万円